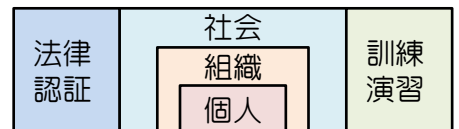




# 研究会紹介



詳しい活動内容や研究会の見学は、座長までお問合せください。

2018年7月現在

## ヒューマンレジリエンス研究会

こころのレジリエンスに関する研究会です。サイコロジカル・ファーストエイド（心理的応急措置）の実践者育成をはじめ、危機発生時のレジリエンス・リーダーシップや困難な事態でも強い組織をつくるために、平時から実践できるレジリエンス行動を研究しています。人材育成、組織開発、メンタルヘルス担当者向きです。

座長：sfukaya@fukayaresilience.com(深谷)

## 演習研究会

BCP/BCM演習(訓練)に関する研究会です。メンバーの実経験や知見に基づいたノウハウ、斬新なアイデアを集め、メンバーの討議の結果を、演習方法としてまとめ、公開をめざしています。座学では学べない、演習の実施も研究しています。毎月活動する活発な研究会です。演習の改善や方法に関心のある方の参加をお待ちしております。

座長：Yoshihisa.Ueda@cmalab.jp(上田)

## しなやかな社会研究会

社会の変化に伴い、自然災害などの従来からのハザードに加え、サイバー攻撃やテロなどの新しいハザードのリスクも増大しています。これらに立ち向かうためのキーワードがしなやかさ=レジリエンスです。2016年発行の「しなやかな社会の挑戦」(日経BPコンサルティング)を題材に、これからのレジリエンスのあり方を考え、啓発していく活動に関心のある方をお待ちしております。

座長：kokogawa@resilience-japan.org(爰川)

## 組織レジリエンス研究会

災害や事故などの被害から立ち直るために、企業を中心とした組織が備えるべきレジリエンスを研究しています。組織のレジリエンスを定量的に評価する手法の開発を目的として、関連論文や事例研究を通じて、メンバー同士が議論しながら、研究を進めています。今の組織をレジリエントにしたい方、関心のある方のご参加をお待ちしております。

座長：ktashiro@resilience-japan.org(田代)

## レジリエントな都市研究会

ロックフェラー財団提唱の都市レジリエンスの枠組み及び指標を起点に、レジリエントな都市の定義を追求しています。その上でレジリエントな都市における防災・減災機能の強化、迅速な復旧に必要な情報共有及び利活用のあり方を議論しています。関心ある方のご参加を心よりお待ちしております。

座長：ktanaka@resilience-japan.org(田中)

新規会員  
募集中

## 一般社団法人レジリエンス協会

災害発生時に必要となる  
“レジリエンス”を様々な視点で学べる場  
初心者も経験者も一緒に、情報交換、仲間づくりができます。

- ホームページ [www.resilience-japan.org](http://www.resilience-japan.org)
- 定例会開催 年5回(1月、3月、6月、9月、11月)
- 会報誌レジリエンスビューの発行
- フォーラム、イベントの開催
- メルマガ発行 購読者550名

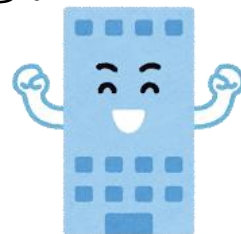


### 【会員特典】

- ・ 年5回の定例会に無料で参加できます。(非会員3000円)
- ・ 研究会活動に参加できます。(裏面参照)
- ・ レジリエンスビューへの投稿ができます。
- ・ 会員用メールリストで、会員同士の交流が可能です。

### 【年会費(非課税)】

- ・ 個人会員 1万円
  - ・ 法人会員 10万円 (10名まで登録可)
- (年度途中の入会は優遇措置がありますので、ご相談ください。)



### 【入会申し込み・お問い合わせ】

[info@resilience-japan.org](mailto:info@resilience-japan.org)

最新情報はFacebookに掲載しています。



“いいね”をクリック

“レジリエンス協会”で検索  
またはこちら →



### ★ 協会のロゴについて ★



産官学の3者それぞれが手を取り合い、協力しながら、  
持続可能な社会(レジリエンス)の実現を目指しているイメージ  
を表しています。